※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3034 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 発展現代文（理） | 単位数 | 2 | 年次 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「論理国語」（大修館書店）　「文学国語」（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 「ニューフェイズ現代文　２＋」（第一学習社）<br>「読解　評論文キーワード　改訂版」（筑摩書房）<br>「速読＋要約＆語彙チェック　２－Ａ」（尚文出版）<br>「意味から習得 音訓別 重要頻出漢字 リアルマスター3300」（尚文出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では主体的に考えたことを、他者と協働することで深めていく活動を行います。
・表現に注目しながら、登場人物の心情を理解しつつ、作品を深く味わいましょう。
・文章に触れる楽しみを知り、自ら読書に親しむ意欲を豊かに育みましょう。
・「近代」という時代を理解しましょう。
・主体性を評価します。学習の成果を定期的に提出してもらいますので、きっちりと取り組みましょう。

## ２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
(2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 | 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 背景や前提、含意を補い、教材文の理解を深める<br>［教材］<br>ミロのヴィーナス<br>スキーマと記憶 | a： 言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。<br><br>b[読]：内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。<br><br>c：学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>ノート<br>授業態度 |
| | 小説から情景や心情を読み取る<br>［教材］<br>山月記 | a：漢文調などの文体の特徴や修辞などの表現の技法について体系的に理解し、自ら物語などを書く際に使っている。<br><br>b[書]：文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。<br><br>c：文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>創作物 | ワークシート<br>授業態度 |
| 二学期 | 評価、賛否、提案など、自分の考えを述べる<br>［教材］<br>対話の精神<br>人工知能の可能性と罠 | a：本文の具体例と主張の関係、本文記述と表の対応関係について理解している。<br><br>b[読]：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。<br><br>c：学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>ノート<br>授業態度 |
| | 「自己」を追い求める近代の特色について考える<br>［教材］<br>こころ | a：読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。<br><br>b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。<br><br>c：言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | データや図表などを活用して考えを深める<br>［教材］<br>敬語への自覚、他者への自覚 | a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br><br>b[書]：個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫している。<br><br>c：学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>創作物 | ワークシート<br>授業態度 |
| | 文体の特徴や効果を考えたり、解釈を深めたりする<br>［教材］<br>美神 | a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。<br><br>b[読]：語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。<br><br>c：舞台設定や時代背景をおさえ、作品のテーマについて考えを深めようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート<br>授業態度 |

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　　…　（　　２０　　）時間

・読むこと　　…　（　　４５　　）時間